【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第１区分
【発行日】平成28年9月23日(2016.9.23)

【公表番号】特表2015-524568(P2015-524568A)
【公表日】平成27年8月24日(2015.8.24)
【年通号数】公開・登録公報2015-053
【出願番号】特願2015-526000(P2015-526000)
【国際特許分類】
Ｇ０１Ｎ　35/00　　(2006.01)
Ｇ０１Ｎ　35/08　　(2006.01)
Ｇ０１Ｎ　37/00　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０１Ｎ　35/00　　Ｄ
Ｇ０１Ｎ　35/08　　Ａ
Ｇ０１Ｎ　37/00　　１０１

【手続補正書】
【提出日】平成28年8月1日(2016.8.1)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
異質な分析物の分離に関するシステムであって、
分析物を受けるよう構成される分析物保有部であって、分析物受容部及びマイクロ流体分離チャネルを含む、分析物保有部と、
前記分析物保有部を保持する回転可能な担体と、
メディア若しくはデータディスクプレーヤ、又はメディア若しくはデータディスクドライブであって、
前記分析物が少なくとも２つの要素に分離されるよう、前記分析物に遠心力を適用するため、前記回転可能な担体を回転させる回転アクチュエータと、
前記分離された分析物要素の少なくとも１つの分光分析のための光学部とを含む、メディア若しくはデータディスクプレーヤ、又はメディア若しくはデータディスクドライブとを有する、システム。
【請求項２】
前記回転可能な担体が、デジタルメディア又はデータディスクの大きさに設定される、請求項１に記載のシステム。
【請求項３】
前記分析物保有部が、前記回転可能な担体において対応する大きさのリセスに着脱自在に固定可能な平面チップを有する、請求項１に記載のシステム。
【請求項４】
前記分析物が、血液を含み、前記分析物の分離は、前記血液における赤血球及び白血球を血漿から分離することを含む、請求項１に記載のシステム。
【請求項５】
前記分析物保有部が更に、分析部を含み、前記血漿の少なくとも一部が、分離後前記分析部に位置し、前記分析部における前記血漿が、前記血漿の少なくとも１つの特性を決定するため、分光分析の対象となる、請求項４に記載のシステム。

【請求項６】
異質な分析物の分離に関する方法において、
分析物保有部に分析物を装着するステップであって、前記分析物保有部が、分析物受容部及びマイクロ流体分離チャネルを含む、ステップと、
回転可能な担体を回転させるステップであって、前記分析物が少なくとも２つの要素に分離されるよう、前記分析物に遠心力を適用するため、前記分析物保有部がメディア若しくはデータディスクプレーヤ、又はメディア若しくはデータディスクドライブであるか、又はこの部分である回転アクチュエータで固定される、ステップと、
前記メディア若しくはデータディスクプレーヤ、又はメディア若しくはデータディスクドライブの光学部を用いて、前記分離された分析物要素の少なくとも１つの分光分析を行うステップとを有する、方法。
【請求項７】
前記回転可能な担体が、デジタルメディア又はデータディスクの大きさに設定される、請求項６に記載の方法。
【請求項８】
前記分析物保有部が、前記回転可能な担体において対応する大きさのリセスに着脱自在に固定可能な平面チップを有する、請求項６に記載の方法。
【請求項９】
前記分析物が、血液を含み、前記分析物の分離は、前記血液における赤血球及び白血球を血漿から分離することを含む、請求項６に記載の方法。
【請求項１０】
前記分析物保有部が更に、分析部を含み、前記血漿の少なくとも一部が、分離後前記分析部に位置し、前記方法が更に、前記血漿の少なくとも１つの特性を決定するため、前記分析部における前記血漿を分光分析の対象とするステップを有する、請求項９に記載の方法。
【請求項１１】
異質な分析物の分離に関するシステムであって、
分析物を受けるよう構成される分析物保有手段であって、分析物受容部及びマイクロ流体分離チャネルを含む、分析物保有手段と、
前記分析物保有手段を保持する回転可能な担体手段と、
前記回転可能な担体手段を回転させる手段であって、前記回転させる手段が、メディア若しくはデータディスクプレーヤ、又はメディア若しくはデータディスクドライブであるか、又はこの部分であり、
前記分析物が少なくとも２つの要素に分離されるよう、前記分析物に遠心力を適用するため、前記回転可能な担体を回転させる回転アクチュエータと、
前記分離された分析物要素の少なくとも１つの分光分析のための光学部とを含む、回転させる手段とを有する、システム。
【請求項１２】
前記回転可能な担体手段が、デジタルメディア又はデータディスクの大きさに設定される、請求項１１に記載のシステム。
【請求項１３】
前記分析物保有手段が、前記回転可能な担体手段において対応する大きさのリセスに着脱自在に固定可能な平面チップを有する、請求項１１に記載のシステム。
【請求項１４】
前記分析物が、血液を含み、前記分析物の分離は、前記血液における赤血球及び白血球を血漿から分離することを含む、請求項１１に記載のシステム。
【請求項１５】
前記分析物保有手段が更に、分析部を含み、前記血漿の少なくとも一部が、分離後前記分析部に位置し、前記分析部における前記血漿が、前記血漿の少なくとも１つの特性を決定するため、分光分析の対象となる、請求項１４に記載のシステム。